



「あいさつ」は人とつながる第一歩

校長室や職員室へ、登校時や下校時に元気な声で「おはようございます」「さようなら」とあいさつをしてくれる子どもたちがたくさんいます。朝から「がんばろう」、放課後には「また明日もがんばろう」という気持ちにさせてくれます。また、朝、街頭指導で信号の所へ立っている時も、いつも遠くからとても気持ちの良いあいさつをしてくれる子どももいます。その姿を見ると（今日も清々しい朝を迎えることができたのだな）とうれしく思います。その反面、あまりあいさつが返ってこない子どもには、「体調がすぐれないのだろうか。」「家でおこられたのだろうか。」と心配になったりもします。あいさつは相手の気持ちを慮る最初のツールにもなります。

下田小では、今年度、毎週木曜日の朝に、児童会と輪番で縦割り班の児童があいさつ運動を行っています。下田小中の児童生徒へはもちろん、地域の方や通勤途中の方へも元気なあいさつを届けており、車から会釈を返してくれたり、笑顔になってくれたりと確実につながりが広がっているのを感じています。また、ある学校の校区では、横断歩道を横断した後、くると振り返って止まってくれた運転者に深々とお礼をしている児童生徒をよく見かけます。気持ちがほっこりすると同時に、これがその校区の子どもたちの「文化」「伝統」になっているのだなあ、と改めてあいさつの大切さを感じているところです。

本校でも、大切にしたい「あ」「い」「う」「え」「お」のスローガンのトップ、「あいさつ」の意義をもう一度子どもたちと考え直し、元気なあいさつ、気持ちの良いあいさつが当たり前になるようがんばっていきたいと思います。

参観日 ありがとうございました

4月30日（日）の参観日には、たくさんの方にお出でいただき、子どもたちのがんばる姿を見ていただきました。また、その後のPTA総会、学級懇談にもたくさん残ってくださり大変ありがたく思ったことでした。子どもたちの健やかな成長、明るい未来のためには家庭・地域のご協力が不可欠です。ぜひ学校経営方針・学級経営方針をご理解いただき、共に子どもたちを見つめ、育てていきましょう。PTA役員の方、各学年の理事の方にはお世話おかけしますが1年間どうぞよろしくお願ひします。

